

報告日 令和7年2月25日  
報告回次 2日目

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	長野県			代表者名	阿部 守一
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	DX推進課	連絡先電話番号	026-235-7146
担当者役職	担当係長	担当者氏名	相田 貞晃	連絡先E-mail	
住所	380-8570 長野県長野市大字南長野字幅下692-2				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名（予定）	令和6年度DX人材育成勉強会
概要	県及び県内市町村におけるマイナンバーカードの活用やDX人材の育成を推進するため、県及び県内市町村のDX担当者を対象にした勉強会を開催する。この勉強会の講師として登壇いただき、知見を共有いただきたい。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） マイナンバー		

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年2月18日	講演(実地)	15時30分	18時00分	
				活動時間（分）	150
2-2. 派遣場所	会場名	core塩尻		最寄駅	塩尻駅
	所在地	長野県塩尻市大門一番町7-1 ウイングロード2階		最寄駅からの交通手段	徒歩

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	長尾 飛鳥
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	<ul style="list-style-type: none"><li>・実体験を基に人材育成やチームビルディングの具体的な方法を分かりやすくご講演いただいた。</li><li>・大所高所の話ではなく、実際に自身が一担当者として行ってきた方法を説明いただけたため、参加者が明日からすぐ活用できる内容だった。</li><li>・ワークショップを挟むことで参加者同士のコミュニケーションが図れ、市町村同士の連携に向けた第一歩を踏み出すことができた。</li><li>・Slidoの活用により、参加者が聞くだけでなく、自分で考えて講演に参加できた。</li></ul>
アドバイザーへの要望事項	特になし。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	23人
	自治体職員	住民	企業・団体
人数	23	0	0
		0	0

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"><li>・自治体内での理解が進まず、DXの機運醸成や巻き込むための土台作りが進んでいない。</li><li>・県内市町村の担当者同士での交流が限定的で、ノウハウが共有されない。</li></ul>
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"><li>・DXの機運醸成や巻き込むための土台づくりのヒントを得ること。</li><li>・県内市町村の担当者同士での交流が増えることで、担当ひとり一人がDXの必要性を理解し実践できるようになること。</li></ul>

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	市町村職員等23名を対象に、DX、特に変革(X)できる人材をどのように育成するかについて講演いただいた。下呂市の事例(デジタル郵便、Google Workspaceの導入など)を参考に、組織内で職員をどのように巻き込み、業務改革を進めるか、また効果的なチーム作りのポイントについて説明があった。セミナーの途中ではワークショップが行われ、参加者は6つのグループに分かれて、3年後の理想の自治体像について討議した。参加者からは、「テレワークの導入」や「職員・市民の負担軽減」等の意見が出された。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	DXに取り組みたいがどう進めればよいか悩んでいる市町村職員に対し、下呂市の事例を基にアクションを起こしていただくきっかけ作りができた。 また、自組織以外のDX等担当者とのコミュニケーションを行うことで各自治体の情報共有や横の連携が生まれ、今後県内で共創してDXを進めていくための機運醸成につながった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 下呂市の事例を基に、DX推進に重要な組織づくり・人材育成に関するポイントを認識することができた。また、普段交流のない他団体職員と意見交換を行い、参加者同士の交流関係が生まれた他、明日から実践したいアクションを参加者各々が認識することができた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 参加者のおよそ9割が「満足」したと回答し、その理由には「普段会えない人との意見交換」、「講演内容のわかりやすさ」、「人材育成のキーワードに触れるきっかけ」を評価する声があった。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある アンケートを通じて今後の要望を把握するとともに、今回参加した市町村の数も限られているため、次年度には開催地域・時期・テーマを見直して新たに勉強会を実施を検討する。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	有識者や県内市町村のDX推進担当者との交流を通じてDXの実践事例を学ぶことで、県内市町村のフロントヤード業務とバックヤード業務の両面が見直され、住民サービスの簡便化が進むこと。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可  掲載可

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

**なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください**

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

